

議案等の審議結果一覧

Table with columns for item name, party support (賛否), and review result (審議結果). Rows include items proposed by the Mayor, Council Members, and others.

※出席した会派の議員全員が、賛成：○、反対：×、出席した会派の議員の一部が賛成・一部が反対：△
※発議第25号は採決の結果可否同数となりましたが、議長裁決により可決となりました。
※地方自治法第117条により、(*)については1名の議員が議事に参加していません。
※議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。

人事議案
12月定例会には、市長から、監査委員の選任についての議案が提出され、議会はこれに同意しました。
監査委員 白土 英成
白土氏は平成20年に初めて選任され、今回は再任となります。(敬称略)

請願
12月定例会には、新たに請願1件が提出され、継続審査事件3件とあわせて所管の各委員会が審査しました。
議会はこれらの4件とも不採択としました。(審議結果は左表)

意見書
12月定例会には、意見書案8件が提出され、議会はのうち6件を可決(うち1件は可否同数による議長裁決)、2件を否決しました。
可決した意見書は12月15日に関係行政庁等へ送付しました。(審議結果は左表)

ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書(要旨)

脳脊髄液減少症は、身体への強い衝撃により脳脊髄液が漏れ、頭痛、目まい、吐き気、倦怠感等の様々な症状が出る病気だが、症状が外見上見えず、医療現場等の無理解に、患者・家族は肉体的・精神的苦痛を味わってきた。
ブラッドパッチ療法は「先進医療」として平成24年に承認され、26年1月に行われた先進医療会議においては、同療法の有効率は82%と報告されている他、「外傷を機に発生する、脳脊髄液の漏れ」の診断基準の研究がなされており、同療法の保険適用が切に望まれる。
よって、本市議会は政府に対し、下記事項の早期実現を強く要請する。
1. 脳脊髄液減少症の治療法であるブラッドパッチ療法の保険適用化
2. 厚労省の研究事業における18歳未満の症例の追加
3. 早期発見・早期治療のための、医療関係機関への情報提供の徹底

Table with 2 columns: Meeting Name (e.g., 2月定例会) and Date (e.g., 2月17日(水)).

Table listing members of various political parties: 維新の党・花の会, 公明党, 自由民主党, 日本共産党, 無所属の会, 民主・連合・市民.

※○は会派代表者。 ※市議会では会派制をとり議会活動を行っています。なお、所属議員3人以上の会派を、議会運営委員の選出などができる交渉会派としています。

● 議員からの寄附やあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く)は公職選挙法で禁止されています ●